

図1
 (問)：安曇野赤十字病院を受診して、施設面で不都合に感じた場所はありますか。
 (単位：回答件数、「地域医療に関するアンケート」上位5項目を抜粋)

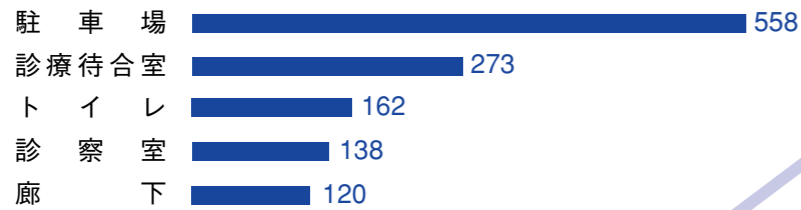
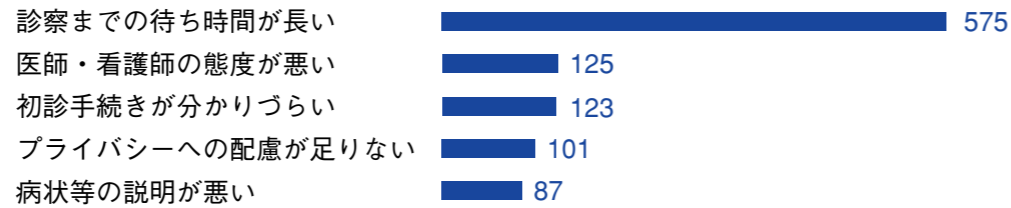


図2
 (問)：安曇野赤十字病院を受診して、病院の対応やサービス面で不満に感じたことはありますか。(単位：回答件数、「地域医療に関するアンケート」上位5項目を抜粋)



市民の皆さまの声を
 病院建設と運営に
 反映させます。



安曇野赤十字病院
 おぎわら みちひこ
 萩原 迪彦 院長

病院長から市民の皆さまへ

安曇野赤十字病院では、市の建設支援検討委員会で行われた市民アンケートの分析結果を重く受け止めており、病院建築はもとより、今後の病院運営にも最大限に反映させてまいります。市民に期待され、信頼される病院を造るために「皆さまの病院」としてご要望に応じてまいりますので、ご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

駐車場の整備

来院者用の駐車場を広く確保するために、病院の本体部分は現在よりも西寄りに配備し、現在ある建物の大半は取り壊して駐車場にする計画です。

外来待ち時間の短縮

- 外来の待ち時間を短縮するため、次の取り組みを行います。
- ◎病状が安定したらかかりつけ医に紹介することにより、再診患者さんの増加を抑え、初診患者さんの待ち時間を短縮させるなど病診連携を推進します。
- ◎院内情報システムをさらに整備し、検査データ報告の迅速化を図ります。
- ◎医事会計システムを整備し、会計の待ち時間の短縮を図ります。
- ◎待ち時間表示を行い、待ち時間の情報提供を図ります。

職員の待遇改善

「来て安心、受けて満足、確かな信頼」の実践のために、アンケートで要望された高度医療機器の整備や高度医療の提供はもとより、「患者さんには言葉を尽くして温かく接する」をモットーに、医師・看護師をはじめ、全病院職員の接遇意識のさらなる涵養に努めます。

「検討委」から「日赤」へ

安曇野赤十字病院建設支援検討委員会は1月11日、市民アンケートの結果などを中心にとめられた要望書を安曇野赤十字病院に提出しました。

安曇野赤十字病院改築事業への要望書を提出

公立病院のない市として

安曇野赤十字病院建設支援検討委員会（会長・西山稜司助役）は昨年6月、安曇野赤十字病院の建設支援の調査・研究を行うため、市に設置されました。

安曇野赤十字病院は、地域医療の基幹病院であるとともに、市内唯一の公的医療機関として、救命救急や先進的高度医療など民間医療機関では行うことが困難な医療や、臨床研修医の教育機能としての役割など、市民が必要とする医療の提供に大きな役割を担っています。このことから委員会では、病院建設にあたって「市民の声」を設計段階から反映していただくよう要望

しました。

要望書は、市民と外来患者を対象とした2つのアンケート調査の結果や、安曇野赤十字病院の現状把握、先進病院の視察などを経てまとめたものです。

具体的な内容も要望

要望書の内容は、病院の施設やサービス、医療体制など、具体的な事項が盛り込まれています。

例えば、施設面の要望として、「駐車場は、車両1台当たりのスペースを含め、十分な台数を用意すること。また、障害者用駐車場も玄関近くに配備し、利用者の利便性の向上を図ること」

建設のこれから

安曇野赤十字病院では、平成20年春の着工を目指し、市民への説明会や講演会などを開催しながら事業を進める予定です。今後、委員会では要望事項が基本設計にどのように反映されるのかを見届けていきます。

要望書の内容やアンケート調査結果などは市ホームページで詳しくご覧いただけます。

を求めています。また、対応面やサービスに関しては、「診察までの待ち時間の短縮について、患者の気持ちを考慮した適切な対応策（声掛け、時間の目安、診療を受けている人の順番が分かるような表示、安心して待つことができる工夫など）を講ずること」を求めています。これは、先に行われた「地域医療に関するアンケート」(結果の一部、図1・2)を検討し作成したもので、この他にも、スタッフの接遇、待合室と廊下の区別、地元開業医・医師会との連携の強化など、要望は全46項目に渡ります。